

# あぶたんつうしん

## 「魚道」って知ってる？

大堰の魚道「バーチカルスロット式」



秋も深まってきたこの時期、阿武隈大堰付近ではたくさんのサケの遡上が見られます。サケは生まれた川を離れて海で過ごし、産卵のために群れをなして生まれた川へ戻ってきます。阿武隈大堰には、サケのような遡上する魚のために魚道が作られています。魚道とは、ダムや堰などで魚が川を上ったり下ったりする移動を助けるために作られた水路のことです。魚道には階段式、アイスハーバー式等多数の方式がありますが、大堰にある魚道は「バーチカルスロット式」です。サケ・サクラマス・ウグイなど大型・中型遊泳魚を対象として形や大きさが決められました。

ふるさとの川へ帰ってきたサケは、産卵が終わるとメスはそのまま産卵床に留まり、他の魚がその場所を掘り返さないよう体力の続く限り守ります。やがて力を使い果たし、体中傷だらけになったオスとメスは死んでしまいます。そんなサケの一生を大堰の魚道は毎年見守っています。

### ♪あぶたん川のお話♪ぞのぞ

#### ★サケは“ニオイ”を元に川へ帰る！？

サケは「匂い」で生まれた川を探し当てると言われています。それがどんな匂いなのかはまだわかりません。海を旅したサケは生まれた川を探し当て、折り重なるようにして川に入るのを待ちます。河口に入ったサケは体を淡水にならすため、すぐには遡上せず生まれた川の匂いを確かめながら注意深く慎重に川を遡上するそうです。



サケ特別採捕許可（宮城県）を受けていない者がサケを採捕することは出来ません。



## 吹上町内会 押分排水機場見学

10月17日（日）押分排水機場近隣の吹上町内会約50名の皆様が見学に来られました。「もっと自分が住んでいる町を知ろう」という企画で、小さいお子さんからご年配の方まで、またご家族のご参加もあり賑やかな楽しい秋晴れの日となりました。直径3mの排水ポンプ吐出管に驚かれて写真を撮ったり、押分水門に登って高さ約30mからの岩沼市街や阿武隈川の景色を眺めたり、それぞれに楽しまれました。

この日は石ころアートにも挑戦☆普段からアートに親しまれている方も、そうでない方も、この時ばかりは皆さんプロ顔負けの真剣さで取り組まれました。



これから水門の上に登るよ♪がんばるぞ！！



押分水門の高さは約30m  
ビルにするとおよそ10階建てに相当します。



石ころアート  
吹上町内会  
作品展

＜岩沼地域防災センターにて＞

## 見学会に行ってみよう♪♪

阿武隈川付近の住民の方が、河川に興味を持ってくださるのは本当に嬉しいことでした。施設見学は随時受付しておりますので、ご希望がありましたら是非ご連絡下さい。見学会のお申し込みは・・・

<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/oyakudachi/kengaku/index.html>

仙台河川国道事務所HPから、お役立ち情報ページの

現場見学に行ってみよう！  
一瞬見学  
ガイドブック  
パンフレットを見る

をクリック！！



10月17日  
押分排水機場参上！！